

部

長
第二復員省公報號外 (位勳)

廣務果長 勳

○昭和二十二年二月二十六日發令

海軍軍醫少將 櫻井 得一

給 勳
海軍軍醫少將 益井英太郎

衣 勳
第二復員官 加藤 源吉

警 勳
海軍技師 坂梨 實

警 勳
第二復員官 保坂 最

警 勳
第二復員官 中山 時宗

警 勳
第二復員官 若林 繁雄

警 勳
第二復員官 宮川 大規

警 勳
海軍少佐 柴田 完

警 勳
海軍主計少佐 飛田 一政

警 勳
海軍大尉 淺野 銀一

警 勳
海軍技師 小山田 廣

警 勳
海軍技師 宇野田 殷

同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同

昭和二十二年四月一日(月)
第二復員大臣官房

小澤德太郎
石橋 美隆
牧山 幸彌
渡邊謙治郎
永澤壽之助
窪田 直治

同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同

海軍技師少將 濱中 匡市

海軍司政長官 大本 利一

海軍大佐 高橋 俊策

海軍大佐 岡崎 忠道

海軍中佐 吉井 靜雄

海軍中佐 古谷義二郎

海軍軍醫中佐 新垣 安和

同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同

海軍少將 松本伊之吉

海軍大佐 大木 利一

海軍大佐 高橋 俊策

海軍中佐 岡崎 忠道

海軍中佐 吉井 靜雄

海軍中佐 古谷義二郎

海軍軍醫中佐 新垣 安和

同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同

第二復員省公報 第六三號

昭和二十一年四月二日(火)
第二復員大臣官房

○令 達

官房經第四三號

第二復員省所管一般會計歳入歳出ノ事務取扱ニ關シ左ノ通定ム
昭和二十一年三月一日

第二復員大臣

- 一 歳入徴收官及支出官ヲ第二復員省經理局長トス
- 二 收入官吏及資金前渡官吏ハ第二復員省經理局(以下經理局ト稱ス)ニ在リテハ局員、各地方復員局ニ在リテハ經理部部員其ノ他ノ所要ノ各部勤務ノ判任官以上ノ者及艦船主計長トス
- 三 艦船主計長以外ノ出納官吏ハ經理局長之ヲ任命ス
- 四 各經理部長ハ其ノ所管各部ニ於テ出納官吏ノ任免ヲ要スル場合ハ其ノ官職氏名ヲ經理局長ニ通知スルモノトス
- 五 前渡資金ニ付テハ主任出納官吏ヲ經理局ニ置キ其ノ他ノ資金前渡官吏ハ其ノ分任官吏トシ各出納官吏ハ相互ニ前渡資金ノ分割授受ヲ爲シ得ルモノトス但シ經理局、經理部以外ノ各部ノ分任出納官吏ハ特別ノ事情ナキ限り所管各經理部分任出納官吏トノ間ニ之ヲ行フモノトス
- 六 前渡資金ノ分割授受ニ關スル手續及計算報告ニ付テハ従前ノ艦隊經費ノ取扱ニ準ズ

第二復員省公報 第六三號 昭和二十一年四月二日

六 前諸號ニ規定スルモツノ外海軍會計規程及昭和二十一年官房經第三號ノ規定ヲ適用ス、

附則

本令ハ昭和二十一年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

○通 牒

二復經理局主第六號ノ一六

昭和二十一年三月二十六日

第二復員省經理局長

各支出官吏官殿
出納擔任官殿

對外金融取引ノ取縮制限ニ關スル件通牒

客年十一月二十日附經豫第七號ノ四一ヲ以テ通牒ノ首題ノ件ニ關シテハ外國爲替ノ生ゼザル取引ハ取縮制限ニ抵觸セザルコトニ解釋一定セラレ外國ニ於テ物品等ノ引渡ヲ爲ス場合本邦内ニ於テ契約シ本邦内ニ於テ本邦居住者ニ對シ代金ノ支拂ヲ爲スベキモノハ同制限ニ該當セザルコトト相成候條了知相成度

二復醫務部第五七號

昭和二十一年三月二十九日

第二復員大臣官房需品部長
第二復員大臣官房醫務部長

關係各廳長殿

治療品節約ニ關スル件申進

首題品ハ國內ニ於ケル生産不振ノ爲需給逼迫シ軍需品ノ大量民
需ヘノ放出後ノ僅少ナル在庫品ニ依リ辛シテ補給ヲナシツツア
ル現状ナル處最近各部ノ消費ハ急増シ此ノ儘推移セバ各部ノ需
要ニ應ジ得ザル狀況ニアリ此ノ點ニ鑑ミ消費規制ヲ強化シ新規
受込ミハ必要品ノミニ限定シ今後ハ在庫品ヲ極力活用スルト共
ニ既搭載品ニ付テハ保管出納ヲ嚴正ナラシムル等診療ノ合理化
消費ノ節約ニ對シ尙一層部下指導方可然取計相成度

○雜款

○宿泊及食事ニ關スル件

當地舊警備府ニ於テハ戰時中緊急事態發生ニ即應セシムル爲部
下各廳ニ勤務員ノ宿泊及食事ノ設備ヲ施シ來リ候處食料事情極
度ニ窮迫ヲ告グル現狀ニ鑑ミ今後各廳勤務員ノ部内居住及烹炊
實施ハ一切禁止セラレ候隨ツテ外來客ニ對スル食事ハ當地各廳
ニ於テハ一切出來ザルコトト相成リ候ニ付諒知相成度尙左ノ件
併セ諒承ノ上連絡上錯誤ヲ來サザル様注意被下度

記

一 運轉手當直ノ關係上大湊驛發○四四○及着二一四○汽車ニ
對スル迎送ハ致シ難シ

二 宿泊、食事ハ舊海友社跡ニ移轉經營ノ大久旅館ニ優先契約
シアリ

(大湊地方復員局)

○移轉

橫須賀地方復員局總務部ハ三月二十七日人事建物ニ移轉セリ
追テ舊海軍通信學校表門ハ三月三十一日以降進駐軍專用トナ
ルヲ以テ復員局各部ニ斷用ノ向ハ人事部門ヲ使用ノコト
(橫須賀地方復員局總務部)

○轉官

海軍司政長官遠藤直人ハ三月二十日內務省調査官ニ轉官セリ

第二復員省公報 第六四號

昭和二十一年四月六日(土)
第二復員大臣官房

○令 達

内令第四六號

横須賀地方復員局所管

特別輸送艦 海第九十七號

佐世保地方復員局所管

同 進

右特別輸送艦ヲ解ク

佐世保地方復員局所管

特別輸送艦 早 朝 丸

舞鶴地方復員局所管

同 川 村 丸

右特別輸送艦ヲ解ク

昭和二十一年四月一日

第二復員大臣

○通 牒

官房總第五五號

昭和二十一年三月三十日

第二復員次官

各地方復員局長官殿

海軍ノ損壞セル地下壕ノ處分ニ關スル件申進

昭和二十年十二月十七日官房總第二八號第二復員次官申進(十

二月十九日附公報) 首題ノ件第一號壕ノ管理使用ヲ左記ノ通改

メラル

記

一 工作物トシテ取扱フ程度ニ至ラザル假設物ハ地表所有者ニ

無償讓渡スルヲ原則トス

二 工作物トシテ整理スベキモノハ速ニ所管財務局ニ引續グモ

ノトス

○雜 款

○郵便物發送先

當分ノ間本艦宛郵便物ハ左記ニ依リ發送相成度

記

下關市彦島三菱造船所氣付

特別輸送艦 冬 月

(特別輸送艦 冬月)

廣島縣大竹町 大竹復員收容所氣付

特別輸送艦 荒 埼

(特別輸送艦 荒埼)

第二復員省公報 第六四號 昭和二十一年四月六日

○事務所閉鎖

當事務所ハ三月三十日閉鎖セリ

(第十二海軍航空廠殘務整理班)

○轉官

舊官	氏名	新官	轉官年月日
海軍書記 兼海軍屬 海軍技手	小澤 孝一	水路部屬	二一、二、一二
同	鎌田 喜三郎	水路部技手	同
同	富田 豊一	同	同
同	廣田 廣太郎	同	同
同	浦井 鎮吾	同	二一、一、一九
同	加藤 俊雄	同	同

第二復員省公報號外

昭和二十一年四月十三日(土)
第二復員大臣官房

○通牒

復下二號外

昭和二十一年四月二十日(線上發布)

復員廳第一復員局文書課長
復員廳第二復員局文書課長

各廳文書取扱主任官殿

復員廳宛文書送付要領ニ關スル件依頼

復員廳宛文書ハ事務ノ迅速簡易化ヲ圖ル爲左ノ通處理ノコトニ

御取計ヲ得度

復員廳總裁宛文書ニシテ復員廳第一復員局又ハ復員廳第二

復員局關係ノモノハ直接當該局文書課長宛送付スルコト

特ニ復員廳總裁官房宛送付ヲ要スルモノハ其ノ寫ヲ關係當該

局文書課長ニ送付スルコト此ノ場合ハ文書ノ末尾ニ「寫送付

先第一復員局長又ハ第二復員局長」ト明記スルコト

ニ復員廳總裁宛文書ニシテ復員廳第一復員局及復員廳第二復

員局共管ノモノハ復員廳總裁官房ニ送付スルト共ニ兩局文書

課長ニ其ノ寫ヲ送付スルコト

前項ノ場合文書ノ末尾ニ「寫送付先第一復員局長、第二復員

局長ト明記ノコト

第二復員省公報號外

三 復員廳第一復員局長又ハ復員廳第二復員局長宛ノモノハ直
接當該局長宛送付スルコト

名 稱	所 在 地
復員廳總裁官房	東京都麹町區永田町(内閣内)
復員廳第一復員局	東京都牛込區本村町(舊陸軍省)
復員廳第二復員局	東京都麹町區役ヶ關(舊海軍省)

1750

第二復員省公報

第六五號

昭和三十二年四月九日(火)

第二復員大臣官房

○通牒

二復經理局第一八號

昭和二十一年三月十五日

第二復員省經理局長

關係各所轄長殿

鐵道運賃支拂ニ關スル件照會

昭和二十一年三月十五日迄ノ運輸省鐵道總局(運輸省トノ連絡運輸取扱會)含ムニ對スル左記債務ハ一括本省ニ於テ支拂
 運賃取扱會(含ム)ニ對スル左記債務ハ一括本省ニ於テ支拂
 各所轄長殿
 記

○雜款

- 一 貨物(小口扱)運賃
- 一 客貨車、上地、建物、其ノ他賃借料
- 一 貨保線工事、修理工事其ノ他委託工事用
- 一 器具其ノ他物品購入費
- 一 其ノ他運輸省鐵道總局所屬各廳ニ支拂ヲ要スル費用

○郵便物發送先

第二復員省公報 第六五號 昭和二十一年四月九日

當分ノ開本艦宛郵便物ハ左記ニ依リ送付相成度

記

佐世保郵便局氣付

特別輸送艦 波

(特別輸送艦 波勝)

當所宛關係書類ハ到達迄ニ相當ノ時日ヲ要スル現狀ニ付可成速達トシ左記宛急送方取計ヲ得度

記

山口縣大津郡仙崎町國民學校內

仙崎上陸地連絡所

(仙崎上陸地連絡所)

○事務開始

舊吳鎮守府在籍ラバウル殘留員ニ對スル連絡事務ヲ廣島縣佐伯郡大竹町吳地方復員局艦船運航部補充課ニ於テ開始セリ

(ラバウル部隊連絡班)

○轉官

舊官	氏名	新官	轉官月日	記事
海軍書記	渡邊耕一	鐵道官補二〇、八、三一		

一一七

部
長
第二復員省公報

第六六號
昭和三十二年四月十一日(木)
第二復員大臣官房

○令 達

廢務

達第六號
大正十五年達第十九號第二復員部内勤勉手當支給規則ハ昭和二十一年三月三十一日限り之ヲ廢止ス

給子課

昭和三十二年四月九日

警務課

第二復員大臣

警務課長

〔海軍會計法規類集二卷 四七五頁 昭和三十二年十二月三日公報〕

警務課

元第四十七號 驅 驅 潜艇

警務課

特別輸送艦トシ横須賀地方復員局所管ト定ム

佐世保地方復員局所管

特別輸送艦 海第六十七號

右舞鶴地方復員局所管ト改ム

昭和三十二年四月五日

第二復員大臣

内令第四八號

昭和十五年内令第六百四十五號特設海軍航路部等ノ所管ノ所屬

第二復員省公報 第六六號 昭和三十二年四月十一日

名稱及所在地ノ件申第八海軍航空廠ノ項ヲ削ル
昭和三十二年四月五日

第二復員大臣

(内令提要卷一、三八ノ三七頁參照)

官房經第五〇號

昭和二十年達第一一九號第二復員部内國庫納金納付手續特別ハ
昭和二十一年三月三十一日限り之ヲ廢止ス

昭和三十二年四月八日

第二復員大臣

(參照) 昭和二十年五月二十六日公報

○雜 款

○郵便物發送先

自今本艦宛郵便物ハ左記ニ依ラレ度

記

鹿兒島上陸地連絡所氣付

特別輸送艦 葛

(特別輸送艦 葛)

○郵便物送付變更ノ件
自今本艦宛郵便物ハ左記ヘ送付相成度

記

廣島縣吳市 吳地方復員局氣付

特別輸送艦 夏 月

(特別輸送艦夏月)

○移轉

當部ハ三月二十九日松江市朝日町松江驛前(島根縣水産業會階上)ニ移轉セリ

(松江地方復員人事部)

○事務開始

本艦艙裝員事務所ヲ四月十日神奈川縣橫濱市鶴見區鶴見町二四二番地ニ設置シ事務ヲ開始セリ

(特別輸送艦海百七號艙裝員事務所)

○殘務整理

左記潜水艦ノ殘務整理ハ佐世保運航部(佐世保市福石町)ニ於テ之ヲ行フ

記

伊三六、四七、五三、五八、一五六、一五七、一五八、二五九、

二六二、三六六、三六七、四〇二

昌五〇

波一〇三、一〇五、一〇六、一〇七、一〇八、一〇九、一一一、
二〇一、二〇二、二〇三、二〇八

○轉官

海軍技手小松勝太郎ハ燈臺局技手ニ、同中田久一ハ燈臺局標識技手ニ三月一日、同吉井直一ハ燈臺局標識技手ニ三月十日孰モ轉官セリ

第二復員省公報 第六七號

庶務主任

昭和三十二年四月十二日(金)
第二復員大臣官房

○ 令 達

内令第四九號

昭和三十二年内令第七號中左ノ通改正ス

昭和三十二年四月十日

第二復員大臣

橫須賀地方復員局掃海部橫須賀支部ノ項掃海艦名ノ欄

内令第五〇號

昭和三十二年十二月十八日第二復員省公報第一〇號參照)

内令第五〇號

右掃海艦ヲ解ク

昭和三十二年四月十日

第二復員大臣
橫須賀地方復員局所管
掃海艦 驅潛特第百八十號

官房經第四八號

臨時軍事費特別會計歲出科目中左ノ通改正ス

昭和三十二年四月四日

第二復員大臣

昭和三十二年四月十五日(續上發布)

復員廳第二復員局各廳長殿
復員廳第二復員局文書課長

文書ノ件名番號ニ關スル件通牒

第二復員大臣

第二復員省公報 第六七號 昭和三十二年四月十二日

諸支出金(目) 亡失金(節)ノ解疏中「領收證ヲ徵スルコト能ハサルモノ」ノ下ニ「並ニ聯合軍側ノ國內輸入禁止等ノ指令ニ基キ燒却其ノ他ノ處分(本邦歸還ニ際シ特定機關ニ供出セシメラレタルモノヲ含ム)ヲ爲シタル官公金」ヲ加フ

○ 通 牒

官房人第三七號

昭和三十二年四月一日

第二復員 次官

各所屬長官殿

官吏任用叙級令施行ニ伴フ官吏ノ補職ノ人事

取扱ニ關スル件通牒

官吏任用叙級令施行ノ際現ニ在官在職中ノ者別ニ辭令ヲ發セラレザルトキハ各現在ノ官職ニ相當スベキ職務ニ補命セラレタルモノトシテ取扱フコトニ閣議決定相成候

復二第一號

昭和三十二年四月十五日(續上發布)

復員廳第二復員局各廳長殿
復員廳第二復員局文書課長

文書ノ件名番號ニ關スル件通牒

復員廳第二復員局各廳長殿
復員廳第二復員局文書課長

一一一

1755

第二復員局事務分掌規程ニ基キ發スル文書ノ件名番號ハ左例ニ依ルコトニ定メラレ候

一 總裁、官房長、局長及文書課長ノ名ヲ以テ發スル公文書

復二第 號 (起案廳ノ區分ヲ行ハズ)

二 廳長ノ發スル文書

二復文第 號

二復總第 號

二復人第 號

二復經第 號

二復補第 號

二復調第 號

二復連第 號

二復資第 號

(註) 起案ノ課ヲ表示スル爲適當ノ文字ヲ挿入スルコトヲ得

○ 雜 款

○ 郵便物發送先

自今本艦宛郵便物ハ左記ニ送付相成度

記

長崎縣 佐世保郵便局氣付

(特別輸送艦輸第十六號)

○ 移轉

當部ハ四月一日佐世保市福石町(舊修徳部)ニ移轉セリ

追テ郵便物ハ左記ニ送付相成度

記

佐世保市福石町

佐世保地方復員局艦船運航部

(佐世保地方復員局艦船運航部)

當班ハ三月三十日佐世保市大和町佐世保地方復員局人事部内ニ移轉セリ

(第三十四設營隊殘務整理班)

當所ハ四月一日徳山市遠石大迫田燃料置場構内ヨリ徳山市徳山掃海部廳舎階上ニ移轉セリ

(呉地方復員局需品部徳山出張所)

第二復員省公報

第六八號

庶務主任

昭和三十二年四月十三日(土)

第二復員大臣官房

通牒

土復經理局主第二號ノ二四

昭和二十二年四月九日

第二復員省經理局長

關係各廳長殿

復員廳設置ニ伴フ一般會計歳入歳出事務取扱

ニ關スル件通牒

第二復員省廢止、復員廳設置ニ伴フ一般會計歳入歳出ノ事務取扱

向臨時軍費特別會計並ニ昭和二十年度一般會計整理期間中ノ

同事務取扱ニ關シテハ從前ノ規定ニ依ル

記

復員廳第二復員局ノ歳入徴收官及支出官ヲ同廳第二復員局

各地方復員局經理部長(以下地方經理部長ト稱ス)及艦船

等ノ主計長ヲ出納官吏(收入官吏及資金前渡官吏)トス

三 出納官吏ヲ設置セラレザル各部ノ收納支拂事務ハ所管地方

經理部長之ヲ掌理スルモノトス但シ已ムヲ得ザル事情アル各

部ニハ本廳經理部長ノ任命スル出納官吏ヲ置キ之ヲ掌理セシ

ムルコトヲ得

四 地方經理部長ハ其ノ所管各部ニ於テ前號但書ニ該當シ出納

官吏ノ任免ヲ要スル場合(第二復員省當時ヨリ引續キ出納官

吏タラシムベキモノヲ含ム)ハ理由シ共ニ其ノ官職氏名ヲ本

廳經理部長ニ通知スベシ

五 資金前渡官吏(地方經理部長ヲ含ム以下同ジ)ノ所要資金

ハ地方經理部長ニ在リテハ本廳經理部長ヨリ之ヲ受入レ其ノ

他ノ者ニ在リテハ所管地方經理部長ヨリ艦隊經費ノ例ニ倣ヒ

之方分割交付ヲ受クルモノトス但シ艦船ノ資金前渡官吏ニ在

リテハ其ノ行動ノ都合ニ依リ支障アル場合ニ限り最寄陸上各

部ノ資金前渡官吏ヨリ之方分割交付ヲ受クルコトヲ得

六 資金前渡官吏他ノ資金前渡官吏ニ資金ノ分割交付ヲ爲シタ

ルトキハ前渡資金明細仕譯書(前渡資金受入請求書ノ紙端ニ

前渡ノ旨記入ノ上記捺印シ之ニ代フルコトヲ得)寫シ本廳

經理部長及所管地方經理部長ニ送付スベシ

七 資金前渡官吏各節ノ増減ヲ爲シタルトキハ前渡資金増減報

告書ヲ本廳經理部長及所管地方經理部長ニ送付スベシ

八 資金前渡官吏各目ノ増減ヲ要スルトキハ地方經理部長ニ在

リテハ前渡資金増減請求書ニ依リ本廳經理部長ノ承認ヲ受ク

ルモノトシ共ニ他ノ者ニ在リテハ所管地方經理部長トノ科目

交換ニ依ルコトヲ得但シ科目交換ヲ爲シタルトキハ當該地方

第二復員省公報 第六八號 昭和二十一年四月十三日

一一三

1757

經理部長之ヲ本廳經理部長ニ報告スベシ

九 資金前渡官吏ハ艦隊經費前渡資金ノ例ニ準ジ毎月前渡資金現況報告書ヲ調製シ翌月五日迄ニ本廳經理部長及所管地方經理部長ニ送付スベシ

十 第二復員省當時ヨリ引續キ出納官吏タルベキ者ハ特ニ定ムルモノノ外従前ノ經理事務、保存資金等ヲ其ノ儘引續キ帳簿整理其ノ他ノ經理事務ニ付新舊ノ區分整理ヲ要セザルモノトス

十一 前諸號ニ規定スルモノノ外海軍會計規程ノ規定ヲ適用ス

○ 雜 款

○ 郵便物廻送ノ件
本艦宛郵便物ハ左記ヘ廻送相成度

記

神奈川縣横須賀市浦賀 横須賀艦艇運航部氣付

特別輸送艦 福江

(特別輸送艦 福江)

鹿児島市 鹿児島島上陸地連絡所氣付

特別輸送艦 楨

(特別輸送艦 楨)

尊多上陸地連絡所運航班氣付

特別輸送艦 海第三十二號

○ 事務開始

當連絡所ヲ四月一日左記ニ設置シ事務開始ス

記

名古屋港區大江町七番地

(名古屋上陸地連絡所)

(特別輸送艦海第三十二號)

○ 撤去

本艦機裝事務所ヲ左記ニ設置シタル處三月十二日撤去セリ

記

大阪市住吉區柴谷町四四藤永田造船所内

(特別輸送艦海第五八號)

第二復員省公報

第六九號

昭和二十一年四月十六日(月)

第二復員大臣官房

○令 達

逓第七號

第二復員省職員共済組合規則施行細則左ノ通定ム

昭和二十一年四月十五日

第二復員大臣

第二復員省職員共済組合規則施行細則

第一章 總則

第一條 第二復員省職員共済組合規則(以下規則ト稱ス)第三條第一項ノ規定ニ依ル組合員所屬各廳ニ於ケル組合事務分掌ニ付テハ左ノ區分ニ依ルモノトス

分 掌	官 官	組 合 員 所 屬 廳
第二復員省經理局長	第二復員省	
地方復員局經理部長	地方復員局及其ノ管下各廳	

第二章 組合員

第二條 廳長ハ適宜組合員原票又ハ原簿ヲ備ヘ組合員毎ニ掛金徵收狀況、組合員家族ノ狀況、給付狀況等ヲ記載シ之ヲ整理スベシ
前項ノ原簿又ハ原票ハ組合員脱退後二年間之ヲ保存スベシ

第二復員省公報 第六九號 昭和二十一年四月十六日

第三條 廳長ハ組合員ニシテ所屬ヲ轉ジタルモノアルトキハ退滞ナク當該組合員ニ付原簿又ハ原票ノ記載事項ヲ新所屬廳長ニ移牒スベシ

第四條 廳長ハ組合員毎ニ組合員證(第一號書式)ヲ交付スベシ

組合員證ハ組合員脱退ノ際之ヲ返納スベシ但シ脱退後引續キ給付ヲ受クル者ニ在リテハ其ノ給付ヲ受ケザルニ至リタルトキ之ヲ返納スベシ

第五條 組合員所屬ヲ轉ズル場合ニ於テハ組合員證ヲ所屬廳長ニ返納シ新所屬廳長ヨリ新ニ交付ヲ受クベシ

組合員組合員證ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ亡失ノ場合ニ在リテハ其ノ前後ノ狀況ヲ具シ毀損ノ場合ニ在リテハ組合員證ヲ添附シテ各其ノ旨廳長ニ届出テ其ノ再交付ヲ受クベシ

第六條 組合員ハ組合員證第二面ノ記載事項中其ノ住所以外ノ事項ニ變更アリタルトキハ之ヲ廳長ニ提出シ其ノ改訂ヲ受クベシ

第七條 廳長ハ組合員ノ所屬廳、身分、配置等ニ應ジ組合員原簿、原票及組合員證ニ附スベキ記載ヲ定メ之ヲ第二復員省經理局長ニ通報スベシ

第七條 組合員脱退スベキ事由發生シタルトキハ其ノ翌日ヨリ組合員タラザルモノトス

1759

第三章 掛金

第八條 掛金ハ毎月一日現在ニ於ケル組合員ノ所屬廳ニ於テ之ヲ徵收スルモノトス但シ月ノ中途ニ於テ所屬ヲ轉ジタル組合員ノ舊所屬廳ヨリ受ケル給料ニシテ掛金額ニ滿タザル場合ハ新所屬廳ニ於テ之ヲ徵收ス

第四章 給付

第一節 通則

第九條 給付ニ關スル査定ハ廳長之ヲ爲スモノトス

第十條 廳長給付ニ關スル決定ヲ爲シタルトキ現金ノ支給ヲ爲スベキモノナル場合ニ於テハ遲滞ナク之ヲ請求セシムベシ

第十一條 給付請求者ハ請求ニ當リ受取地ヲ指定シテ其ノ送付ヲ受ケルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ請求書ニ其ノ旨明記スベシ但シ送付ニ要スル費用ヲ負擔セシムルコトアルベシ

第十二條 廳長ハ本則ニ定ムルモノノ外給付ニ關シ必要ト認ムル書類ヲ提出セシムルコトヲ得

第十三條 本則ニ於テ組合員タリシ者又ハ遺族ニ對スル給付其ノ他ニ關シ廳長トハ組合員脫退ノ際又ハ死亡當時ニ於ケル廳長ヲ謂フモノトス

第十四條 組合員ニシテ扶養家族ヲ有スルトキハ扶養家族届(第二號書式)ヲ加入ノ日又ハ扶養家族ヲ有スルニ至リタル日ヨリ十四日以内ニ廳長ニ提出スベシ

組合員證ノ交付ヲ受ケタル後前項ノ届出ヲ爲ストキハ同時ニ組合員證ヲ提出スベシ

第十五條 廳長ハ傷病手當金及出産手當金ノ毎月ニ於ケル一定ノ支給日ヲ定メ之ヲ組合員ニ告示スベシ

第二節 傷病給付

第十六條 療養ノ給付ヲ受ケントスル者ハ規則第二十五條ノ區分ニ依リ共濟病院又ハ保險醫ニ對シ組合員證ヲ呈示シ其ノ旨申出ヅベシ但シ組合員證ハ已ムヲ得ザル事由アルトキハ申出ノ際其ノ事由ヲ告ゲテ之ヲ呈示セザルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ事由止ミタル後遲滞ナク之ヲ呈示スベシ

第十七條 保險醫ニ就キ療養ヲ受ケル者又ハ受ケントスル者看護又ハ移送ノ給付ヲ受ケントスルトキハ組合員證ニ對シ各其ノ申請書(第三號書式又ハ第四號書式)ヲ提出シ其ノ承認ヲ受ケベシ

前項ノ規定ニ依リ移送ノ承認ヲ得タル者移送費ノ支給ヲ受ケントスルトキハ其ノ請求書(第四號書式)ニ其ノ費用ニ關スル證據書類ヲ添附シ之ヲ廳長ニ提出スベシ

第十八條 療養ノ給付ニ要シタル費用ノ算定、請求、支拂其ノ他ニ關スル事項ハ組合員所ニ依ル

第十九條 組合員規則第二十七條第一項第二號又ハ第三號ノ承認ヲ受ケントスルトキハ其ノ申請書(第五號書式)ヲ組合員提出スベシ

組合員前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ遲滞ナク其ノ決定ヲ爲シタル上之ヲ其ノ書面ニ表示シ當該組合員ニ之ヲ返付スベシ

第二十條 療養費ノ支給ヲ受ケントスル者ハ其ノ請求書(第六

號書式)ニ診療ニ要シタル費用ノ額ニ關スル證書類及前條第二項ノ承認書アルトキハ更ニ之ヲ添附シ之ヲ廳長ニ提出スベシ

第二十一條 傷病手当金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ其ノ請求書(第七號書式)ヲ廳長ニ提出スベシ

第三節 分宛給付

第二十二條 分宛費又ハ出產手当金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ各其ノ請求書(第八號書式又ハ第九號書式)ヲ廳長ニ提出スベシ

第四節 遺家族給付

第二十三條 家族ノ療養ヲ受ケントスル場合ニ付テハ第十六條及第十七條ノ規定ヲ準用ス

第二十條ノ規定ハ家族療養ノ給付ノ費用ニ付テハ準用ス

第二十四條 組合員ハ其ノ家族ニシテ療養ヲ受ケントスルニ當リ組合員ト同居セザルニ因リ組合員證ヲ呈示シ得ザルモノアルトキハ廳長ニ申出デ組合員證ノ副證ノ交付ヲ受クルコトヲ得

組合員證ノ副證ハ家族療養ノ給付ニ關シテノミ之ヲ使用シ得ルモノトシ其ノ他ノ取扱ニ付テハ本證ニ準ズルモノトス

第二十五條 第二十一條ノ規定ハ家族ノ療養ニ付テハ準用ス

第二十六條 家族療養費ノ支給ヲ受ケントスル者ハ其ノ請求書(第六號書式)ヲ第二十二條ノ規定ニ準ジ廳長ニ提出スベシ

第二十七條 配偶者分宛費ノ支給ヲ受ケントスル者ハ其ノ請求

書(第八號書式)ヲ廳長ニ提出スベシ

第二十八條 葬祭金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ其ノ請求書(第十號書式)ニ埋火葬認許證ノ寫又ハ死亡診斷書ノ寫ヲ添附シ之ヲ廳長ニ提出スベシ但シ其ノ添附書類ハ同時ニ提出スル遺族給付請求書ニ依リ死亡ノ事實ヲ證明シ得ル場合ハ之ヲ省略スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ死亡者組合員證ヲ返納シアラザルトキハ請求書ニ之ヲ添附スベシ

第五章 報告

第二十九條 廳長ハ左表ニ依ル報告ヲ爲スベシ

書類名	書式	到達期限	送付先
組合員現況報告	第十二號書式	翌月二十日	第二復員省經理局長
政府給與金資料	第十三號書式	毎月十日	
掛金徴收調査	第十四號書式	毎月十日	

附則

本達ハ昭和二十年十二月一日ヨリ之ヲ適用ス

別紙書式ハ所要ノ向ニ後送ス

内令第五一號

昭和二十年内令第七號中左ノ通改正ス

昭和二十一年四月十二日

第二復員大臣

表中佐世保地方復員局掃海部佐世保支部ノ項掃海艦名ノ欄「同
第二百一號」ヲ削ル

(昭和二十年十二月十八日第二復員省公報第一〇號參照)

内令第五二號

佐世保地方復員局所管

掃海艦 驅潛特第二百一號

右掃海艦ヲ解ク

昭和二十一年四月十二日

第二復員大臣

○通牒

二復員局第二〇號

昭和二十一年三月二十八日

第二復員省總務局長
第二復員省經理局長

關係各廳長
特別輸送艦艇長 殿

日用品等配給機關ニ關スル件通牒

昭和二十年二復員局第一號ノ二ノ配給機關ニ關シ横須賀地方
復員局經理部ノ欄中 浦賀出張所 横須賀市浦賀 ノ次ニ

名古屋支店 名古屋市

ヲ追加セルニ付可然了知相成

度

○雜款

○郵便物發送先

本艦宛郵便物ハ左記ニ依リ送付相成度

記

東舞鶴郵便局氣付

特別輸送艦 初 梅

(特別輸送艦初梅)

福岡市 博多上陸地連絡所氣付

特別輸送艦 海第五八號

(特別輸送艦海第五八號)

吳地方復員局艦艇運航部氣付

特別輸送艦 朝風丸

(特別輸送艦朝風丸)

○移轉

當部ハ四月八日左記ニ移轉セリ

記

千葉市椿森町

千葉地方世話部

(電話千葉 二五四番)
(千葉地方世話部)

(別表)

備考	作業服、縫紉、作業帽、地下足袋等右表以外ノ織維製品ハ別ニ通知スル處ニ依ル	品名	特別輸送艦艇便乗中ノ軍官民(戰時特別給與品ヲ含ム)	外地残留者一人當(一補給ニ付)	引揚援護局收容中ノ軍官民(但シ一ヶ月ニ付)	掃海艇乗員及特別輸送艦艇乗員(一ヶ月ニ付)	元海軍病院タリシ國立病院タリ收容中ノ患者	管制艦ノ特ニ定ムルモノ(但シ一ヶ月ニ付)
		煙草	七五本以内	五〇本以内	五〇本	一五〇本以内		四合以内
		日木酒		一合以内	一合以内	六合五勺以内		
		ウイスキー		一合以内	一合以内	六合五勺以内		
		浴用石鹼	十分ノ一個	一個以内	三分ノ一個以内	三分ノ一個以内	三分ノ一個以内	三分ノ一個以内
		洗濯石鹼		一本以内	一本以内	三分ノ一本以内	三分ノ一本以内	三分ノ一本以内
		芥紙	四〇枚以内	一〇〇枚以内	二〇枚以内	六〇枚以内	三〇枚以内	三〇枚以内
		襪	一木以内	二木以内		一木以内	三分ノ一本以内	三分ノ一本以内
		風呂敷	適宜			適宜	適宜	適宜
		菓子類	二個以内		適宜	二個以内	適宜	
		菓子	一本以内	二本以内	一本以内	一本以内	一本以内	一本以内
		齒磨	一袋以内	二袋以内	一袋以内	一袋以内	一袋以内	一袋以内
		靴下		一足以内		三分ノ一足以内	六分ノ一足以内	六分ノ一足以内
		縫糸	二・五匁以内	二・五匁以内		六ヶ月ニ付五匁以内	六ヶ月ニ付五匁以内	六ヶ月ニ付五匁以内
		靴墨	五匁以内	一〇瓦以内	一〇瓦	一〇瓦	二〇瓦	二〇瓦
		便箋	一冊	三冊以内	一冊以内	一冊以内	一冊以内	一冊以内
		封筒	五〇枚	一〇〇枚以内	二〇枚以内	一〇枚以内	一〇枚以内	一〇枚以内
		インク		適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
		ペン先	二本	同右	同右	同右	同右	同右
		蚊取線香		一箱以内				
		家庭薬	適宜	適宜	同右	同右	同右	同右
		手袋			六分ノ一雙以内	十二分ノ一雙以内	十二分ノ一雙以内	十二分ノ一雙以内

(昭和二十二年四月十七日第二復員省公報)

第二復員省公報 第七〇號

昭和二十一年四月十七日(水)

第二復員大臣官房

○令 達

達第八號
 官吏俸給令ノ制定ニ伴ヒ現ニ海軍武官タル第二復員官及第二復員官補並ニ委任文官及判任文官ノ左ノ各下欄ノ俸給ハ別ニ附令ヲ用ヒズ當該上欄ノ號俸トス
 昭和二十一年四月一日

第二復員大臣

十六號俸	少佐	五級俸	三級俸	一級俸							判任文官
十四號俸	中佐 <small>(現官在職ノ者未滿一年)</small>	四級俸	二級俸								
十三號俸	中佐 <small>(現官在職ノ者一年以上)</small>	三級俸	一級俸								
十二號俸		一級俸									
十一號俸	大佐										
九號俸	少將										
七號俸	中將										
號俸	海軍武官 復員官補 同復員官階	委任文官 高等官 第一號令 依ル官	同第二號 官ニ依ル	同第三號 官ニ依ル							判任文官

○通 牒

十七號俸	特務大尉	六級俸	四級俸	二級俸	
十八號俸	大尉 特務中尉	七級俸	五級俸	三級俸	
十九號俸	特務少尉	八級俸	六級俸	四級俸	
二十號俸					一級俸
二十一號俸	中尉	九級俸	七級俸	五級俸	
二十二號俸	少尉 准士官尉	十級俸	八級俸	六級俸	二級俸
二十三號俸	上等兵曹 兵曹一級	十一級俸	九級俸	七級俸	三級俸
二十四號俸	同 二級	十二級俸	十級俸	八級俸	四級俸
二十五號俸	同 三級		十一級俸	九級俸	五級俸
二十六號俸	一等兵曹			十級俸	六級俸
二十七號俸	二等兵曹			十一級俸	七級俸
二十八號俸					八級俸
二十九號俸					九級俸
三十號俸					十級俸

第二復員省公報 第七〇號 昭和二十一年四月十七日

一二九

官房庶務第四號

昭和二十一年四月十六日

第二復員大臣官房庶務課長

關係各廳長殿

徽章ニ關スル件通牒

官房總第二六號(三月十九日公報参照)制定ニ依ル徽章ハ近ク
貸與豫定ニ有之候處從來徽章ハ各個人ニ貸與セラレタルモ今後
ハ各職務配置ニ對シ貸與サルルニ付轉任等ノ場合ハ各廳ニ於テ
保管必ズ後任者ニ之ヲ引繼ガシメラルル様取計相成度

追テ一 各廳(地方ニ在リテハ各地方復員局ニ於テ取組ム)
毎ニ所要數(定員ノ範圍内トス)ヲ第二復員大臣官房
庶務課ニ請求相成度尙舊徽章ハ新徽章製作用ノ資材ニ
充當セララルルニ付新徽章受領次第之ヲ取組メ返還相成
度

二 新徽章紛失セル者ニ對シテハ各廳ニ於テ直ニ代品ヲ
貸與スルコトナク其ノ都度當事者ヨリ辨償金(金額)
ト共ニ始末書ヲ徴シタル上之ヲ添ヘ第二復員大臣官房
庶務課ニ代品請求(製作能力ニ余剩無之直ニ應シ難キ
場合アリ)ノ相成度

二復經理局契九第一號ノ九〇

昭和二十年三月二十八日

第二復員省經理局長

一三〇

關係各廳長殿
特別輸送艦艇長殿

日用品等配給品種標準改正ニ關スル件通知
昭和二十年二復經理局契第三號ノ五〇通知ノ首題標準ヲ別表ノ
通り改ム
(別表添)

○雜款

○郵便物發送先
自今本艦宛郵便物ハ左記ニ送付相成度

佐世保市 佐世保郵便局氣付

早 鞆 丸

(早 鞆 丸)

大湊上陸地連絡所氣付

掃海艦 屋 代

(掃海艦 屋 代)

第二復員省公報 第七一號

昭和二十一年四月十九日(金)
第二復員大臣官房

○令 達

達第九號

第二復員部内職員給與規則外一件中左ノ通改正ス

昭和二十一年四月十六日

第二復員大臣

一 第二復員部内職員給與規則中左ノ通改正ス

附則第四項、第五項中「第十條乃至第十條ノ三」ノ上ニ夫々

「第二條乃至第二條ノ十二」ヲ加フ

二 第二復員部内係給家族下渡規則中左ノ通改正ス

第十八條第一項中「竝ニ内地外ニ在ル者ノ戰時増俸及戰時増

給及」、同條第二項但書ヲ削ル

第十九條中「、戰時増俸、戰時増給」ヲ削ル

様式第一、様式第二及様式第四中増俸ノ欄ヲ削ル

附 則

本達ハ昭和二十一年三月一日以後ノ給與ニ付之ヲ適用ス

海軍工員戰時特例給與規則ハ昭和二十一年三月一日限リ之ヲ廢

止ス但シ本達適用ノ際外地ニ在ル工員ニハ當分ノ開海軍工員戰

時特例給與規則(第五條、第七條、第十條及増給ニ關スル部分

ノ規定ヲ除ク)ヲ適用ス

第二復員省公報 第七一號 昭和二十一年四月十九日

○通 牒

二復人事局補第四號ノ六五

昭和二十一年四月二日

第二復員省人事局長

第二復員省經理局長

第二復員大臣官房醫務部長

各 廳 長 殿

復員輸送艦船、病院船及掃海艦船ノ職員タル

軍醫科及藥劑科士官ノ配員事務移管ニ關スル

件依命中進

昭和二十一年四月一日附首題配員事務ヲ醫療局長官ニ移管セラ

レタル處之ニ件フ人事並ニ給與等ノ取扱ハ左ニ依ルモノト了知

相成度

一 首題配員事務ヲ醫療局ニ移管セラレタル主旨ハ復員輸送艦

船ノ増加ニ伴ヒ其ノ職員タル軍醫科及藥劑科士官著シク不足

セルヲ以テ主補充源ヲ醫療局ニ移シ廣ク陸軍及厚生省出身者

シモ之ニ充當シ要員ノ不足ヲ補フト共ニ配員事務ヲ一系化シ

其ノ適正ヲ期スルニ在リ

二 本措置ニ依リ醫療局ヨリ派遣セラレタル者ノ人事取扱ハ左

ニ依ル

(イ) 別ニ命令ヲ用ヒズシテ派遣セラレタル艦船ノ囑託トナリ

タルモノトシ(囑託其中手續ハ之ヲ省略スルコトヲ得)當

該艦船ニ於テ院長、部長、醫務長又ハ乗組タル舊軍醫科及

藥劑科士官ノ所掌タリシ業務ヲ委囑ス

(ロ) 右囑託ノ艦船内ニ於ケル待遇ハ院長、部長、醫務長又ハ

乗組タル舊軍醫科及藥劑科士官ニ準ズ

(ハ) 右囑託ニ關スル配員、交代等ノ其中ハ相當ノ餘裕ヲ以テ

第二復員省人事局長及醫務局長官宛、本人ノ身上關係其中

ハ直接醫務局長官宛提出ス

(註) 醫務局所在 東京都澁谷區原町四八

三 給與ニ關シテハ別ニ指示ス

二復人事局業第八號ノ三

昭和二十一年四月十六日

第二復員省人事局長

關係各廳長殿

業績事務取扱ニ關スル件通牒

事務簡捷ヲ期スル爲メ爾今功績其中ハ別紙様式ニ依ル死歿者功績
名簿ニ依リ進達ノコトトシ此ノ場合現ニ保管中ノ功績明細書、
見證書其他功績調査上參考ト爲ルベキ資料ハ努メテ之ヲ添付
相成度

道而 一 大東亞戰爭功績調査細則第十條(殘務整理等ノ場

合ニ於ケル功績書類ノ件)ハ廢止セラレ

二 既ニ調製済ノ功績書類ハ成ルベク從來通進達ス

(様式添)

○ 雜 款

○ 郵便物發送先

自今本艦宛郵便物ハ左記ニ依リ送付相成度

記

福岡市石城町一ノ九 博多上陸地連絡所運航班氣付

特別輸送艦 海第二二七號

(特別輸送艦海第二二七號)

神戸市 神戸郵便局氣付

特別輸送艦 箕

(特別輸送艦箕 面)

吳地方復員局艦船運航部氣付

特別輸送船 ぼごた丸

(特別輸送船ぼごた丸)

○ 移轉

横須賀地方復員局人事部横濱支部へ四月八日横濱市西區老松町
三五番地(野毛山) 神奈川地方世話部ニ合體ス

電話長者町(3) 二五〇四番

(現) 横須賀地方復員局人事部横濱支部
神奈川地方世話部 第二課

（様式第二）（軍人ノ部）

艦船部隊名死歿者功績名簿

（昭和二十一年四月十九日第二復員省公報）

調製者 職官 氏 名

戦		歴		死歿年月日	電報符又ハ 入籍番號	現行勳 功等	特進官等 氏名	本籍	記事
支那事變二次	今次戦争	場所並ニ狀況	入籍番號	官功等	氏名	本籍	記事		
(記註例)									
一五、四三九 一六、八三〇 一六、八三三 一六、三三七	横團 上陸 上陸	一八、三、三ニ ユ一ギニヤ島 「クレチン」岬南 東約三十哩ニ於 テ敵航空部隊ト 激戦朝潮沈没ノ 際戦死	横志水 三〇二二九	旭八 曹	一曹 山田太郎 大八九三	茨城縣眞壁 郡新濱村字 井出	一七二二一 五朝潮機銃 員トシテ重 傷ニ届セズ 敢闘シ敵機 一機ヲ撃墜 ス		

備考

- 一 士官（豫備士官、候補生、見習尉官ヲ含ム）特務士官以下ノ二種ニ區別シ各別紙トシ特務士官以下ニ在リテハ更ニ兵種別（特務士官ハ出身兵種別）ニ記註ス
- 二 死歿（行衛不明）當時ノ配置ヲ戦歴欄ニ記註ス
- 三 死歿年月日、場所並ニ狀況欄ニ戦死、戦傷死、戦病死、公務死ノ別ヲ明記ス、行衛不明者モ本欄ニ其旨記註其中ス
- 四 氏名ニハ振假名ヲ附シ舊氏名アル者ハ之ヲ附記ス
- 五 特殊功績見認事項アル者ハ記事欄ニ記註ス
- 六 戦歴欄ノ所轄ハ本人ノ實際ノ行動場所ト異ル場合ハ實際ノ行動場所ヲ附記ス

(様式第二) (船員ノ部)

船名(總噸數) 死歿者功績名簿

(昭和二十一年四月十九日第二復員省公報)

調製者 職官 氏 名

名

支那事變二次	戦歴		場所並ニ狀況	職(待遇) 級 俸	現 有 勳 功 名 目	他省關係 海軍部内 異身部分	本 籍 地	記 事
	今 次 戦 争	前 次 戦 争						
(記註例)								
	六、三、〇七 明	六、三、〇七 明	一八、九、三「ス ル」海「カガヤ ン」諸島東方海 面ニ於テ敵潜水 艇ニ交戦、吉田丸沈 没ノ際戦死	一等機關士 (奏待) 月二〇〇	瑞六 岩谷太郎 大六八、三	陸軍五一五 部隊ニテ勤 務	高知縣吉川 郡名野川村 三五	一七、五、一 〇明石山丸 被害ノ際重 傷ニモ届セ ズ應急處置 ニ従事ス

備考

- 一 死歿年月日、場所並ニ狀況欄ニ戦死、戦傷死、戦病死、公務死ノ別ヲ明記ス、行衛不明者モ其旨本欄ニ記註其中ス
- 二 職(待遇) 級俸ハ奏功時ノモノヲ記註ス
- 三 氏名ニハ假振名ヲ附シ舊氏名アル者ハ之ヲ附記ス
- 四 特殊功績見認事項アル者ハ記事欄ニ記註ス
- 五 資料不備ニシテ戦歴欄ノ記註困難ノ者ハ同欄ニソノ旨記註ス

1769

(様式第三) (軍属ノ部)

應名死歿者功績名簿

(昭和二十一年四月十九日第二復員省公報)

調製者 職官 氏 名

職歴	勤務地	配置	現行功績 其功官他	特進官等 生氏年日名	内及他省 異海軍係 身分部係	本籍	記事
(記註例ノ一) 一七、五、七 佐施 一七、六、九 佐施 一七、六、〇 七三施 一七、三、八 於「ガ」 島敵機ノ爆撃ニ ヨリ戦死	保 七、五、七 佐世 七、六、七 佐世 島 七、七、六 「ガ」 七、三、八 「ガ」	施設隊 小隊長	旭八 職手 日 三、五	王長 松橋菊造 (山本) 明四、三、六	六、三、〇〇 陸軍上等兵 トシテ三〇 五部隊ニ勤	廣島縣吳市 古江町七五	捕獲敵機ノ大發射 ハハコングラツク リハコングラツク ナリハコングラツク 敵機ノ爆撃ニヨ シテ味方艦隊ニ シテ連絡ニ成 功ス
(記註例ノ二) 一五、四、三 南洋 九、七、三 南洋 開拓「サ、イ、バ、ン」 三於「サ、イ、バ、ン」 島戦死軍属トナ ル	五、四、三 東京 八、三、三 東京 八、三、三 東京 「サ、イ、バ、ン」 「サ、イ、バ、ン」 島	南洋開拓 支店調査課 主任	月 三、〇	原 虎治 大 三、三、五		鹿兒島縣大 島郡龍郷村 龍郷一二九	

備考

- 一 官等順職級順ニ記註ス
- 二 職歴欄末尾ニ死歿年月日、場所並ニ状況(戦死、戦傷死、戦病死、公務死ノ別ヲ明記ス)ヲ記註シ部外者ニシテ死歿セル爲軍属ト爲レル者ハソノ旨附記ス
- 三 配置ハ詳細ニ記註ス(例 施設隊副班長、無線班幹部等)
- 四 現有勳功、奏功官等、其他ノ欄ハ奏功時ノ勳功、官等、職級、給料等ヲ記註ス
- 五 氏名ニハ振假名ヲ附シ舊氏名アル者ハ之ヲ附記ス
- 六 特殊功績見認事項アル者ハ記事欄ニ記註ス
- 七 資料不備ニシテ職歴欄ノ記註困難ノ者ハ同欄ニ其旨記註ス

第二復員省公報 第七二號

昭和二十一年四月二十日(土)
第二復員大臣官房

部

長 ○ 通 牒

二復員省第七號ノ四八

昭和二十一年四月十八日

第二復員省經理局長

庶務課

係各廳長殿

第二復員省關係勤務員給與等ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シ左ノ通發電セラレタルニ付了知相成度

發 經理局長

本務課 地方復員局經理部長

第〇八一四四一 番電

補 課長 雇員傭人及工員ノ退職賞與ノ取扱ノ件

外地歸還ノ雇員傭人及工員ニ對シ上陸地連絡所ニ於テ支給スベ

補 課長 雇員傭人及工員ニ對シ上陸地連絡所ニ於テ支給スベ

依ルコトヲ取扱フ一定ス本件ニ付テハ第一復員省ト打合セ濟

發 經理局長

宛 各地方復員局經理部長

第一五一七二九 番電

補 課長 雇員傭人及工員ニ對シ上陸地

外地歸還ノ軍人軍屬(雇員、傭人及工員ヲ除ク)ニ對シ上陸地

第二復員省公報 第七二號 昭和二十一年四月二十日

庶務主任

連絡所ニ於テ支給スベキ歸郷旅費及避難服裝手當ノ内五〇〇圓ハ現金ヲ支給シ殘額ハ封鎖支拂ニ依ルコトニ一定ス第一復員省トモ打合セ濟

發 經理局長

宛 各地方復員局經理部長

第一九〇九二七 番電

家族渡中ノ者ニ年度末賞與支給ノ件

現ニ家族渡中ノ者ニハ本年三月一日以降ノ年度末賞與ハ本人ノ請求ヲ俟タズ金額家族渡ノコトニ取計ハレ度

發 經理局長

宛 内地部内一般

第一九一九〇一 番電

第二復員省内所得稅徵收手續特例廢止ノ件

第二復員省内所得稅徵收手續特例ハ昭和二十一年二月二十八日限り廢止セラレタルニ付三月一日以降ノ分類所得稅ノ徵收ハ所得稅法、同施行規則及同施行細則ニ依ルモノトス本月一日以降

同法令改正ノ要領左ノ如シ

一 勤勞所得

(イ) 基礎控除

「年六百圓」ヲ「年二千四百圓」ニ改ム(法十六條)

一三三

1771

註 (二月分二百圓、半月分百圓、一句分六十七圓、一週間分四十七圓)

(ロ) 扶養控除

「一人年二十四圓(扶養家族中子五人以上ナルトキ八年三十六圓)」ヲ「年七十二圓」ニ改ム(法二十四條)

註 (一人ニ付一月分六圓、半月分三圓、一句分二圓、一週間分一圓四十錢)

二 退職所得

甲種ノ退職所得ヨリ控除スベキ「三千圓」ヲ「五千圓」ニ改

尙分類所得稅ノ課稅對象トナル給與ハ俸給、給料、報酬、勤績手當、臨時家族手當、臨時物價手當、掃海手當、臨時手當(新設ノ豫定)及賞與(年末賞與、年度末賞與、臨時賞與)トス

發 經理局主計課長

宛 各地方復員局主計課長

第〇五一—一四番電

復員官同補召集解除ノ際ニ於ケル旅費ノ件

第二復員省廢止ニ伴ヒ復員官及復員官補ノ豫備役召集ハ解除セラルルモ海軍内國旅費規則第六十一條第一項第一號ノ規定ハ適用セラレザルニ付爲念

發 經理局長

宛 内地部内一般

第〇六一七〇番電

第二復員部内國庫納金納付手續特別廢止ノ件

第二復員部内國庫納金納付手續特別ハ昭和二十一年三月三十一日限り廢止セララル尙昭和二十一年四月一日以降ノ國庫納金ニ付テハ俸給額ヨリ恩給法第五十九條ニ定ムル額(俸給ノ百分ノ二)ヲ控除國庫ニ納付スルモノトス但シ外國及外地ニ在ル軍人及軍屬ノ國庫納金ハ當分控除セザルモ差支ナシ

發 經理局長

宛 部内一般

第〇八一六三一番電

本年三月以降ノ給與ノ件

一 本年三月一日以降内地勤務者(艦船乗員ヲ含ム)ニハ臨時手當ノ支給並ニ勤績手當、家族手當及航海加俸ノ増額ヲ審議中

二 本年三月一日以降外地ニ在ル者(扶養家族アル者ニ限ル)ニハ物價手當(一定額)及臨時手當ノ支給並ニ家族手當ノ増額ヲ審議中

三 外地ニ在ル者及外地ニ派遣セララル艦船乗員ノ戰時増俸(増給)ハ昭和二十一年三月一日以降支給セザルコトニ定メラル

四 前號ノ者ニ對シ三月分ノ戰時増俸(増給)支給濟ノ場合ハ三月分ノ物價手當及臨時手當支給ノ際控除(三月ニ於テ控除未済額ヲ生ジタルトキハ四月分ヨリ控除)處理セラレ度

(註) 第一號及第二號中勤績手當及家族手當ノ増額ノ件ハ現行通トナル

第二復員省公報 第七三號

昭和二十一年四月二十二日(月)
第二復員大臣官房

○令 達

内令第五三號

昭和二十一年内令第三三號及同年内令第三四號申別表ヲ各別表ノ如ク改ム

昭和二十一年四月五日

第二復員大臣

(別表三葉添)

○通 牒

官房庶第九六號

昭和二十一年四月十九日

第二復員次官

各廳長 殿

天皇、皇后、皇太后三陛下竝ニ皇太子殿下
御寫眞ノ取扱ニ關スル件通牒

首題ノ件今般宮内次官ヨリ別紙ノ通牒牒有之候條諒知相成度

(別紙)

宮内大臣
官房發第六六號

昭和二十一年四月五日

第二復員省公報 第七三號 昭和二十一年四月二十二日

各省次官殿

官 房 内 次 官

天皇、皇后、皇太后三陛下竝ニ皇太子殿下御寫眞ノ取扱ニ關シテハ爾今別紙要綱ニ依ルコトト相成候條御諒知相成度 貴省所管各關係ノ向ニモ各々通牒相成度候

追テ新ラシキ御寫眞ノ下賜ニ付テハ別途通牒致ス可キモ相當期間有之モノト御承知相成度

御寫眞取扱要綱

天皇陛下ノ御寫眞ハ國民ガ日本國ノ元首、國民大家族ノ慈父トシテ深キ敬愛ノ念ヲ以テ仰ギ奉ルベキモノトス

一 御寫眞ニ對スル拜禮ハ之ヲ強ヒザルコト

二 御寫眞ノ奉扱

官衙、學校其ノ他ニ於テ御寫眞ヲ奉扱スル場合ニ於テハ

(イ) 日常御姿ヲ仰グニ適當ナル場所ニ奉扱スルモノトシ帷幃ヲ垂ルル等ノ設備ヲ要セズ唯ダ其ノ場所ヲ清淨ナラシムル

コトニ心懸クベク奉安殿、奉安庫等ニ平常奉納スルガ如キ

コトハ之ヲ避クルコト

(ロ) 御寫眞ノ大サハ奉扱スル場所ニ應ジ自由ニ選擇シ得ベク必要ニヨリ數種ノ御寫眞ヲ併セテ奉扱シ得ルハ勿論他ノ一般ノ肖像寫眞等ト共ニ奉扱スルモ妨ゲナシ

1773

三 御寫眞ノ下賜

- (イ) 官衙、學校其ノ他團體及個人ニシテ御寫眞ノ奉戴ヲ希望スル向ハ其ノ下賜ヲ宮内省ニ願出ヅルコトヲ得
- (ロ) 宮内省ヨリ下賜セラレベキ御寫眞ノ種類及型ハ特定セラ

四 御寫眞ノ頒布

下賜以外ノ御寫眞ニシテ宮内省ガ原版ヲ有スルモノニ付希望アルトキハ左ノ條項ニ依リ其ノ希望ニ應ズ

- (イ) 當該御寫眞ノ複製(印畫、印刷)ハ宮内省ノ許可ヲ得テ之ヲ發賣頒布スルコトヲ得
- (ロ) 當該御寫眞ノ複製(印畫、印刷)ヲ發賣頒布セントスル者ハ宮内省ニ該御寫眞ノ貸下ヲ願出ヅルモノトス
- (ハ) 頒布發賣スベキ御寫眞ノ様式形狀等ハ宮内省ノ承認ヲ得ルコト
- 五 皇后陛下、皇太后陛下、皇太子殿下ノ御寫眞取扱ニ付テモ右ニ準スルコト

○ 雜 款

○ 郵便物發送先

本艦宛郵便物ハ左記ニ依リ送付相成度

記

佐世保局氣付

第一二六號海防艦

(第一二六號海防艦)

奥地方復員局艦船運航部氣付

第百三十二號海防艦

(特別輸送艦第百三十二號)

○ 移轉

當所ハ近ク廢廳豫定ノ處事務ハ(舊大湊海兵團舊大湊警備府特別陸戰隊殘務關係ヲ含ム)四月十日以降左記ニ移轉セリ

追テ大湊特別陸戰隊給與關係殘務ハ大湊經理部ニテ處理ス

記

北海道函館市末廣町九番地(金森ビル内)

函館上陸地連絡所

(大湊地方復員局大湊上陸地連絡所)

○ 事務開始

昭和二十一年四月五日附福岡市石城町ニ於テ事務ヲ開始セリ
(佐世保地方復員局博多運航部)

○ 轉官

第二復員官本南喜代治ハ三月二十八日農林技師ニ、第二復員技師小山軍之助ハ三月三十一日地方技師ニ孰モ轉官セリ

(別表)

特別輸送艦 冬月定員表

(昭和二十二年四月二十二日第二復員省公報)

考 備	計	艦長	中少佐	兵科佐官	少佐、大尉	軍醫科尉官	兼務一	主計長	兵科尉官	兵科特務士官、准士官	兵科特務士官(機)	兵科特務士官(工)
	准士官以上	内兼務一人	下士官	兵曹	機關兵曹	工兵曹	衛生兵曹	主計兵曹	七	二	三	四
一 分隊長ノ中、一人ハ内務長、一人ハ工務部長ノ配置ニ充ツルモノトス	五十六人											
二 高等武官ノ定員ハ二級ノ復員事務官ノ、判任武官ノ定員ハ三級ノ復員事務官ノ定員トス												
三 下士官ノ定員ニハ當該科ノ兵ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得												
四 本表ノ外必要ニ應ジ、雇員二十七人ヲ臨時乗組マシムルコトヲ得												

(別表第一)

特別輸送艦北上定員表

(昭和二十一年四月二十二日第二復員省公報)

考 備	計	艦長 大 中 少 佐 三	分隊長 中 少 佐 三	主計長 主計少佐、主計大尉 三	中尉 少尉 一	技衛大尉 一	大尉(水) 一	中尉(水) 一	大尉(機) 一	大尉(工) 一	中尉(機) 一	主計兵曹長 一	乗組 主計兵曹 三
	准士官以上	十四人	下士官、兵	百十七人	乗組 主計兵曹 三	乗組 衛生兵曹 一	乗組 機關兵曹 一	乗組 機關兵曹 二	乗組 水兵曹 二	乗組 水兵曹 九	乗組 水兵曹 五	乗組 水兵曹 三	乗組 水兵曹 五

- 一 分隊長ノ中一人ハ副長、一人ハ内務長、一人ハ工作部長ノ配置ニ充ツルモノトス
- 二 本表中高等武官ノ定員ハ二級ノ復員事務官ノ、判任武官ノ定員ハ三級ノ復員事務官ノ、兵ノ定員ハ員ノ定員トス
- 三 本表ノ外必要ニ應ジ員員二十七人ヲ臨時乗組マシムルコトヲ得
- 四 本艦乗員ニ對スル醫務關係事項ハ地方引揚援護局ニ委囑スルモノトス

(別表第二)

特別輸送艦輸第一七四號定員表

(昭和二十二年四月二十二日第二復員省公報)

考 備	計		乗組	主計長	分隊長	艦長
	准士官以上	下士官				
一 分隊長ノ中一人ハ内務長、一人ハ工工作部長ノ配置ニ充ツルモノトス	八人					
二 本表中高等武官ノ定員ハ二級ノ復員事務官ノ、判任武官ノ定員ハ三級ノ復員事務官ノ定員トス						
三 本表中下士官ノ定員ニハ當該科ノ兵ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得						
四 本表ノ外雇員二十五人ヲ臨時乗組マシムルコトヲ得						
五 本艦乗員ニ對スル醫務關係事項ハ地方引揚援護局ニ委嘱スルモノトス						
	内兼務一人	三十八人	乗組 主計兵曹 九	乗組 衛生兵曹 一	乗組 工作兵曹 一五	乗組 兵曹 二三
						兼務一

(別表第二)

特別輸送艦北上定員表

(昭和二十一年四月二十二日第二復員省公報)

考 備	計	乗組				主計長	分隊長	艦長																				
	准士官以上	<table border="0" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>主計兵曹長</td> <td>中尉(機)</td> <td>大尉(工)</td> <td>大尉(機)</td> <td>中尉(水)</td> <td>大尉(水)</td> <td>技衛大尉</td> <td>中尉</td> <td>主計少佐、主計大尉</td> <td>中尉少佐</td> <td>大尉</td> </tr> <tr> <td></td> <td>二(電機長)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				主計兵曹長	中尉(機)	大尉(工)	大尉(機)	中尉(水)	大尉(水)	技衛大尉	中尉	主計少佐、主計大尉	中尉少佐	大尉		二(電機長)										三
主計兵曹長	中尉(機)	大尉(工)	大尉(機)	中尉(水)	大尉(水)	技衛大尉	中尉	主計少佐、主計大尉	中尉少佐	大尉																		
	二(電機長)																											
四	下士官、兵	<table border="0" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>主計兵</td> <td>主計兵曹</td> <td>衛生兵</td> <td>衛生兵曹</td> <td>機關兵</td> <td>機關兵曹</td> <td>水兵</td> <td>兵曹</td> </tr> <tr> <td>三</td> <td>六</td> <td>一</td> <td>一</td> <td>一八</td> <td>二四</td> <td>二九</td> <td>三五</td> </tr> </table>				主計兵	主計兵曹	衛生兵	衛生兵曹	機關兵	機關兵曹	水兵	兵曹	三	六	一	一	一八	二四	二九	三五	百十七人						
主計兵	主計兵曹	衛生兵	衛生兵曹	機關兵	機關兵曹	水兵	兵曹																					
三	六	一	一	一八	二四	二九	三五																					
三	備	<p>一分隊長ノ中一人ハ副長、一人ハ内務長、一人ハ工作部長ノ配置ニ充ツルモノトス</p> <p>二本表中高等武官ノ定員ハ二級ノ復員事務官ノ、判任武官ノ定員ハ三級ノ復員事務官ノ、兵ノ定員ハ雇員ノ定員トス</p> <p>三 本表ノ外必要ニ應ジ職員二十七人ヲ臨時乗組マシムルコトヲ得</p> <p>四 本艦乗員ニ對スル醫務關係事項ハ地方引揚援護局ニ委嘱スルモノトス</p>																										

(別表第二)

特別輸送艦輸第一七四號定員表

(昭和二十一年四月二十二日第二復員省公報)

考 備	計		乘 組	主 計 長	分 隊 長	艦 長
	准 士 官 以 上	下 士 官				
一 分隊長ノ中一人ハ内務長、一人ハ工工作部長ノ配置ニ充ツルモノトス	八人					
二 本表中高等武官ノ定員ハ二級ノ復員事務官ノ、判任武官ノ定員ハ三級ノ復員事務官ノ定員トス						
三 本表中下士官ノ定員ニハ當該科ノ兵ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得						
四 本表ノ外雇員二十五人ヲ臨時乗組マシムルコトヲ得						
五 本艦乗員ニ對スル醫務關係事項ハ地方引揚援護局ニ委嘱スルモノトス						
	内兼務一人	三十八人	乘組 主計兵曹 九	兵科特務士官(機) 兵科特務士官(工) 兵科特務士官、准士官 主計少佐、主計大尉 主計少佐、主計大尉	大尉(水) 少佐、大尉 少佐、大尉	兼務一 尉 尉

第二復員省公報 第七四號

昭和二十一年四月二十三日(火)

第二復員大臣官房

○通牒

第二復員省經理局長

二復經理局主第五號ノ六

昭和二十一年四月十五日

第二復員省經理局長

各地方復員局經理局長殿

臨時軍事費特別會計歳出支出報告書並ニ歳入
收入濟額別區分調ニ關スル件照會

臨時軍事費特別會計歳出支出報告書ハ海軍會計規程書式第
十七號ニ準ジ調製ノコト(會法卷一書式六三頁參照)

記

一 臨時軍事費特別會計歳出支出報告書ハ海軍會計規程書式第
十七號ニ準ジ調製ノコト(會法卷一書式六三頁參照)

二 同歳入收入濟額別區分調ハ昭和十九年四月一日經決第三
十八號經理局長通牒ニ準ジ調製ノコト(會法卷一一六〇頁ノ
二參照)

三 貴管下従前ノ各支出官及歳入徴收官ノ分ヲ各別ニ調製ノコ
ト

二復經理局主第二號ノ三〇

昭和二十一年四月十七日

第二復員省公報 第七四號 昭和二十一年四月二十三日

各地方復員局長官殿

豫算運用ニ關スル件通牒

昭和二十一年度一般會計豫算ハ諸般ノ事情ニ依リ極度ニ緊縮セ
ラレ近ク發令ノ復員總ノ諸經費モ極端ニ縮減セザル限リ到底之
ガ支辨困難ニシテ豫算運用上未會有ノ難關ニ逢着スルコト必至
ノ狀況ニ候條左記諸項留意ノ上入件費タルト物件費タルトヲ問
ハズ苟モ節減シ得ル經費ハ極力之ガ抑制ニ努メ豫算運用上萬金
ノ措置ヲ講ズルト共ニ新規ノ豫算需要ニ就テハ勿論豫算ノ流用
ニ就テモ豫メ中央及地方共主務部課ト充分協議シ布且ニモ連絡
不充分ノ爲經費支出上齟齬ヲ來スガ如キコトナキ様管下各部ヲ
指導相成度

追テ臨時軍事費ノ決算ハ六月末日ヲ以テ完結ノコトニ發令セ
ラレアル處之ガ終結事務ハ複雑多岐ニシテ異常ノ努力ヲ要ス
ル實情ニ付關係者ノ督勵方併セテ配意相成度

記

一 科目

昭和二十一年度豫算科目ハ從來ノモノト甚シク異ナルヲ以テ
解説ニ充分留意スルコト、「目」以上ノ流用ハ中央經理部長ノ
承認ヲ必要トスル外「節」ト雖モ「諸支出金」在外部隊諸費

ノ流用ニ就テハ承認ヲ必要トス
 二 臨時軍事費及三月分經費

昭和二十年度臨時軍事費及一般會計(三月分)豫算ノ殘額使用ニ關シテ近日地方ノ殘額狀況判明ヲ俟テ處理ノコトトスルモ家族渡未渡ノ分ハ極力二十年度豫算ヲ以テ支給ノコトニ努ムルコト、尙契約上ノ支拂未済ノモノハ特殊決濟トシテ可及的速ニ處理スルコト

三 四月乃至六月分經費

昭和二十一年度豫算中四月乃至六月分豫算ハ豫備金支出トシテ取扱ハルルヲ以テ次期議會迄ノ豫算額ハ各月毎ニ決定セラルル豫定

四 人件費

復員廳第二復員局關係ノ定員ハ雇員傭人共近日發令サレル豫定ノ處二十一年度豫算ハ極メテ窮屈ニシテ囑託、雇員及傭人ヲ増員スル場合ニモ豫メ協議ヲ要スルコト勿論ナルモ之ガ増員ハ困難ノ見透ナリ

五 物件費

衣糧費、需品費、艦艇修理費等ノ物件費モ極度ニ節減セラレアリ豫算運用上多大ノ困難ヲ來ス見込ニシテ事業遂行上最少減ノ需要充足ニモ支障ヲ生ズル虞大ナルニ付殊ニ在庫資材ノ轉換又ハ活用等ヲ圖ル外物資尊重使用物資ノ選定、使用量ノ節減整理等具體的實行ノ推進ニ努ムルコト

六 地方人事部ノ經費

從來ノ地方人事部ハ第一復員省地方世話部ト共ニ各府縣廳ニ移管セラルル豫定ノ處本豫算ノ取扱ハ不日(七月豫定)內務省ニ移管迄豫算配付其ノ他從來通ナルモ關係省間ノ了解事項別紙第一ノ通

七 終戰處理費

進駐軍ノ要求ニ基ク施設、勞務等ノ提供ニ要スル經費ハ終戰處理費(內閣)ヲ以テ支辨スベク復員廳豫算ニハ計上シアラザルニ付所要經費ハ終戰連絡事務局又ハ其ノ地方機關ニ要求シ支辨スルコトトナル、之ガ手續別紙第二ノ通

八 報告

他ニ規定アルモノノ外各經理部長ハ前渡資金現況ヲ左ノ様式ニ依リ所管各部ノ分ヲ取纏メ毎月月頭電報並ニ書類ヲ以テ報告ノコト

前月迄元 受領合計 (電報一) 略符(一)	前月迄支 拂額合計 (電報二) 略符(二)	差引殘額 (電報三) 略符(三)	本分前渡 資金受入請 求見込額 (電報四) 略符(四)	備 考 (電報五) 略符(五)
--------------------------------	--------------------------------	------------------------	-----------------------------------------	--------------------------

(別紙第一)

地方人事部關係經費ノ取扱ニ關スル了解事項

(二一、四、一一)

地方人事部ノ內務省地方廳移管ニ伴フ經費ニ關スル措置ハ左ニ

依ル

一 現在地方人事部ニ要スル經費取扱ハ第一復員省ノ地方世話部ト異ナルモ兩局共同有ノ人件費、物件費ハ之ヲ一括シ次期ノ議會ニ於ケル復員豫算ノ成立後成ルベク速カナル時機ニ内務省ヘ移管ス

二 昭和二十一年度豫算ニ於テハ復員總固有ノ經費ト地方人事部ニ要スル經費トヲ區分セズ一括議會ノ協賛ヲ經ルコトナルモ移管前ニ要シタル經費ハ地方人事部割當ノ豫算ヨリ差引キ移管額ヲ決定スルニ付區分整理シ置クコト

三 移管前ノ經費ノ取扱ハ從前通トシ移管後ハ各知事ガ支出官別ニ資金前渡官吏ヲ置カザル内務省固有ノ經費掌理要領ニ依ル
四 決算ハ移管前ノ分ヲモ含メ内務省ニ於テ行フカ或ハ移管後ノ分ニ就テノミ同省ニ於テ行フカハ今後關係省ノ協議ニ依リ決定ス

(別紙第二)

終戦處理費支辨事項經理事務處理要領

聯合國側ノ要求ニ依リ復員部内各廳ニ於テ聯合國側ニ對スル施設、勞務等ノ提供、管理物件ノ整備引渡等終戦處理費支辨事項ノ實施ヲ擔當スベキ場合ノ經理事務ハ左ノ要領ニ依リ處理スルモノトス

一 要求ヲ受ケタル各廳ハ指令寫其他要求内容ヲ明ナラシムル

書類ヲ以テ第二復員局經理部(以下中央經理部ト稱ス)又ハ所管地方復員局經理部(以下地方經理部ト稱ス)ニ協議ス

二 中央及地方經理部ハ前號ノ要求ヲ受ケタル各廳ト協同シ上經費概算額、經費所要時期、其他契約ノ締結ヲ要スル場合ハ主タル契約内容ヲ概定シ速ニ夫々終戦連絡中央事務局又ハ其ノ地方機關ノ事務擔當者(第四號參照)ニ協議ス
地方經理部前項ノ處理ヲナシタル時ハ要求内容、經費概算額、經費所要時期ヲ中央經理部ニ通知スルモノトス

三 經費ノ支出(支拂)、契約ノ締結等經理關係事務ハ直接終戦連絡中央事務局又ハ其ノ地方機關ニ於テ之ヲ行ヒ中央地方經理部ハ要スレバ之ニ協力スルモノトス

四 終戦連絡事務局ノ關係地方機關ノ事務擔當者ハ左ノ通
横須賀 横須賀終戦連絡地方事務局長(又ハ上席連絡官)
吳 吳終戦連絡地方事務局長(又ハ上席連絡官)
佐世保 佐世保終戦連絡地方事務局長(又ハ上席連絡官)
舞鶴 京都終戦連絡地方事務局長(又ハ上席連絡官)
大阪 大阪終戦連絡地方事務局長(又ハ上席連絡官)
大湊 青森縣會計課長

五 終戦連絡關係經費支辨區分等ニ關スル昭和二十年九月二十一日終戦連絡機密第三號ノ六八通牒ハ昭和二十一年三月三十一日限ヲ廢止ス

二復經理局主第七號ノ五〇

昭和二十一年四月二十日

第二復員省公報 第七四號 昭和二十一年四月二十三日

一三九

第二復員省經理局長

關係各廳長殿

外地歸還海軍軍人軍屬解員給與取扱要領中改正ノ件通牒

昭和二十一年二復經理局主第七號ノ一二外地歸還海軍軍人軍屬解員給與取扱要領中左ノ通改正致候

第二號ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ退職賞與、歸郷旅費及遭難服裝手當ノ合計金額五〇〇圓ヲ超ユルトキハ五〇〇圓ヲ現金支拂ト爲シ五〇〇圓ヲ超ユル部分ハ俵給家族下渡廳ニ於テ封鎖支拂ニ依リ之ヲ支給スルモノトス

別紙(甲片)中「歸郷旅費及遭難服裝手當」ノ欄ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ五〇〇圓ヲ超ユル部分ハ俵給家族下渡廳ニ移牒ス

別紙(乙片)中

「現ニ家族渡中ニ非サ
ルモノノ現地ニテ支
給ヲ受ケタル分」

現ニ家族渡中ニ非サ ルモノノ現地ニテ支 給ヲ受ケタル分	退職賞與	歸郷旅費	遭難 服裝手當
	圓	圓	圓
上記ノ外家族下渡廳 ニ移牒スルモノ (封鎖支拂)			

ニ改ム

附則

本改正ハ昭和二十一年四月二十日ヨリ之ヲ施行ス

郵政省
運輸局

第二復員省公報 第七五號

○通牒

人事局扶第五號ノ一〇六

昭和二十一年四月十八日

職務課長

第二復員省人事局長

各地方復員局人事部長

各地方復員人事部長

遺骨輸送等ニ關スル件通牒

首題ノ件別紙通牒寫ノ物決定致候條御承知相成度

常務

鐵道第一八四號

昭和二十一年四月八日

補遺

業務局長

警務

陸運監理局長

救護

外地ヨリ還送セラル遺骨ノ輸送方其ノ他左記ノ通決定相成候
 前仰了知相成度尙本輸送ニ關シテハ死亡者及其ノ遺族ニ對スル
 道義ニ基キ嚴肅慎重ノ趣旨ニ副フ如ク特ニ懇切確實ニ處理スル
 様致度

第二復員省公報 第七五號 昭和二十一年四月二十四日

職務主任

第二復員大臣官房

昭和二十一年四月二十四日(水)

追而内地連絡運輸機關ニ對シ本取扱ヲ爲ス様指示相成度

一 輸送ノ要請

輸送ノ申込ハ復員官廳關係機關ヨリ最寄鐵道局又ハ管理部ニ
 左記様式ニ據リ遅クモ輸送實施ノ七日前(慰靈祭終了後ノ輸
 送ニ在リテハ成ル可ク速カニ)迄ニ爲ス

〇〇第〇〇號

遺骨輸送請求書

輸送請求官衙

昭和 年 月 日

遺骨	受領者	荷物 (個數)	發驛	出發月日	著驛	摘要

備考
 一 輸送諸元ノ記載順序ハ同一方面ノモノニアリ
 テハ著驛カ發驛ニ近キモノヨリ逐次記入ス
 二 著驛中他ニ同一驛名アル場合ハ線名ヲ附記ス
 三 遺骨箱ノ平均容積(縦、横、高)ヲ註記ス

一四一

1785 1784

七四号ハ 五五

五號

庶務主任

昭和二十一年四月二十四日(水)

第二復員大臣官房

追而内地連絡運輸機關ニ對シ本取扱ヲ爲ス様指示相成度

記

一 輸送ノ要請

輸送ノ中込ハ復員官廳關係機關ヨリ最寄鐵道局又ハ管理部ニ左記様式ニ據リ廻クモ輸送實施ノ七日前(慰靈祭終了後ノ輸送ニ在リテハ成ル可ク速カニ)迄ニ爲ス

〇〇第〇〇號

輸送請求官衙

遺骨輸送請求書 昭和 年 月 日

遺骨	受領者	荷物(個數)	發驛	出發月日	著驛	摘要

備考 一 輸送諸元ノ記載順序ハ同一方面ノモノニアリテハ著驛カ發驛ニ近キモノヨリ逐次記入ス

二 著驛中他ニ同一驛名アル場合ハ線名ヲ附記ス

三 遺骨箱ノ平均容積(縦、横、高)ヲ註記ス

二 輸送計畫

輸送中込ヲ受ケタル鐵道局ハ輸送請求ニ依リ輸送計畫ヲ策定

(別紙)

鐵道部第一八四號

昭和二十一年四月八日

業務局 隨運監理局長

客鐵道局長殿

外地ヨリ還送セラルル遺骨ノ輸送方其ノ他左記ノ通決定相成候前御了知相成度尙本輸送ニ關シテハ死亡者及其ノ遺族ニ對スル道義ニ基キ嚴肅莊重ノ趣旨ニ副フ如ク特ニ懇切確實ニ處理スル様致度

第二復員省公報 第七五號 昭和二十一年四月二十四日

一四一

1785 1784

シ之方輸送實施手配ヲ爲スト共ニ被請求官衙ニ必要事項ノ連絡ヲ爲スモノトス

管理部ニ輸送申込アリタルトキハ所管鐵道局ニ連絡シ該鐵道局ニ於テ前項ニ準ジ取扱ヲ爲スモノトス

三 輸送方

客車一車以上ヲ專用輸送スル場合ハ可及的ニ二等車ヲ充當シ發驛ニ於テ専用客車ノ適宜ノ個所ニ「英靈」ト表示スルモノトス一車未滿ノ場合ハ乘車驛驛長ニ於テ優先乘車方斡旋スルモノトス

前項ノ「英靈」ノ表示用紙ハ輸送請求官衙ニ於テ調製スルモノトス

四 輸送ニ關スル便宜供與方

遺族ノ乘車遺骨安置箇所及宰領者休憩室等ノ使用並ニ復員官公署關係者又ハ遺族ノ驛權内出入ニ際シテハ努メテ便宜ヲ供與スルコト

五 遺骨宰領者ノ取扱方

(イ) 取扱範圍

宰領者方遺骨輸送ノ爲省線内(關釜、博釜及稚泊航路ヲ除ク)及省線ト連絡運輸ノ取扱ヲ爲ス内地連絡社線内ヲ乘車スル場合ニ限ル

註 宰領者方遺骨輸送終了後歸還スル場合ノ復路旅行ニ對シテモ本取扱ヲ爲ス

(ロ) 遺骨宰領者證明書及同乘車票

左ノ様式ノ遺骨宰領者證明書及同乘車票ヲ乘車ノ都度提出セシム

(1) 様式

(二二・八種)

甲第 遺骨宰領者乘車票	號	遺骨宰領者乘車票
	乘車區間	至自 驛驛 片道
使用者氏名		外 名
乘車船等級		等
通用期間	發行ノ日ヨリ十五日間	
昭和 年 月	發行者	自發行
職印		

(九〇一種)

(九〇一種)

備考

- 一 本様式ハ第一復員局關係機關發行ノ様式トス第二復員局關係機關發行ノモノハ「(第二)」ト表示ス
- 二 本證ノ發行者ハ左ノ如シ
上陸地支局長、地方世話部長、復員連絡局長又ハ留

守業務局長
 上陸地連絡所長、地方復員局人事部長又ハ地方復員
 人事部長
 三 本證明書及乗車票ノ番號、乗車區間等ノ記載事項
 ハ全テ發行者ニ於テ記入シ本人ニ交付スルモノトス
 四 本證ハ輸送請求官衙ニ於テ調製ス
 取扱方
 (2)
 (一) 遺骨宰領者乗車票ニハ驛名小印ヲ押捺シ乗車用トシ
 テ旅客ニ交付シ同證明書ハ旅客運賃後拂ノ證票トシテ
 驛ニ於テ回收シ毎月分ヲ取纏メ局審査課ニ提出スルコ
 ト
 (二) 遺骨宰領者乗車票ハ旅客下車驛ニ於テ回收シ着札日
 報ニ添付局審査課ニ提出スルコト
 (ハ) 等級
 二、三等
 (ニ) 旅客運賃
 一人一乗車ニ對シ省線ハ二八三軒分ニ相當スル旅客運賃、
 社線ハ所定旅客運賃トシ後拂扱トス
 前項旅客運賃ハ本省ニ於テ取纏メ復員官廳(第一復員局、
 第二復員局別)ニ對シ一括徵收ノ手續ヲ爲ス
 註 車輛ヲ貸切トシタル場合ト雖モ貸切旅客運賃ヲ收受セ
 ズ實際乗車人員ニ對シ本號ノ運賃ヲ收受ス
 遺族ニ對スル取扱方

第二復員省公報 第七五號 昭和二十一年四月二十四日

遺族ガ遺骨ノ出迎ヘ受領ノ爲又ハ遺骨ヲ護送シテ歸郷スル場
 合ノ旅行ニ對シテハ昭和十二年八月十八日告示第二七五號ニ
 依リ旅客運賃五割引ノ取扱ヲ爲ス

○雜 款

○郵便物發送先
 自今本艦宛郵便物ハ左記ニ送付相成度

記

吳地方復員局艦船運航部氣付
 特別輸送艦 海第七八號 (特別輸送艦海第七八號)

福岡縣福岡市 博多上陸地連絡所運航班氣付
 特別輸送艦 輸第一三七號 (特別輸送艦第一三七號)

鹿兒島郵便局氣付
 特別輸送艦 海第一百十八號 (特別輸送艦海第一百十八號)

横須賀郵便局氣付
 特別輸送艦 隱岐 (特別輸送艦隱岐)

○移轉

一四三

1787

舞鶴上陸地連絡所ハ四月二日舞鶴市西舞鶴倉谷舊舞鶴海軍工廠
第二造兵部廳舎ニ移轉セリ(西舞鶴驛ヨリ徒歩約十五分間)

(舞鶴地方復員局舞鶴上陸地連絡所)

○事務所閉鎖

當事務所ハ四月十五日閉鎖セリ

(別府上陸地連絡所殘務整理班)

○失官

豫備役海軍大尉

ハ殺人罪ニ因リ懲役一年(二年間刑ノ

執行猶豫)ニ處スルノ裁判確定シ四月一日失官ト爲レリ

第二復員省公報

第七六號

庶務主任

昭和二十一年四月二十六日(金)

第二復員大臣官房

命令 達

官房第四〇號

醫療局ニ轉籍シ昭和二十一年三月三十一日現在復員輸送艦船病
院艦隊海艦船ノ職員タル軍醫科及藥劑科士官ハ別ニ附令ヲ用
ヒテ之ヲ同日附召集ヲ解除セラレ同年四月一日附厚生省醫療局
ヨリ現勤務艦船ニ派遣セラレ當該艦船ノ囑託トシテ従前ノ業務

昭和二十一年三月三十一日

第二復員大臣

通牒

官房庶第九七號

昭和二十一年四月二十日

第二復員次官

各官廳長殿

收置ノ文書等ニ關スル件通牒

今般内閣各官廳ニオケル文書及ビ新ニ制定(全文改正ヲ含ム)
スル法令ノ文書ハ口語體ヲ用ヒ、ソノ用語、用字、句讀點等ハ
今回發表シレテ憲法改正草案ノ例ニナラフコトトシ、デキルダ

第二復員省公報 第七六號 昭和二十一年四月二十六日

ケソノ平易化ニ努メルコトニ決定シテ

(註) 公報ハ活字ノ關係上當分ノ間片假名ヲ用ヒル

第二復員省公報第七六號ノ五一

昭和二十一年四月二十四日

第二復員省經理局長

關係各廳長殿

第二復員省關係勤務員ノ給與等ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シ左ノ通り發電サレタカラ了知アリタイ

發 經理局長

宛 部内一般

第一九一六〇〇番電

臨時手當等ノ諸給與ニ關スル件

臨時手當等ノ諸給與ニ付左ノ通定メラル

一 臨時手當支給額算出表ハ別途配付ス(速達)

二 勤続手當ハ其ノ支給ヲ受クベキ資格ヲ生ジタルトキハ其ノ

資格ノ生ジタル日ノ屬スル月ノ翌月ヨリ支給スルコトニ改正

セラレ

三 外地及外國ニ在ル者ニハ本年四月一日以降勤続手當ヲ支給

セラレズ

一四五

1789

四 家族手当ノ額並ニ勤続手当ノ額及受給者ノ範圍ハ改正セラレズ

發大 臣
宛 部内一般

第二〇一三三〇番電

臨時手当支給等ニ關スル件

第二復員部内各部署ニ勤務スル官吏、嘱託者、雇員及傭人ニハ本年三月以降左ニ依リ臨時手当ヲ支給ス

一 臨時手当ノ額

俸給、報酬又ハ給料(日給者ハ日給三十日分)、勤続手当、臨時家族手当及臨時物價手当ノ合計月額(十圓未満ハ切捨ツ)

(以下合計月額ト稱ス)ニ對シ左ノ割合ヲ乘ジテ得タル金額

(圓未満ハ側位ニ滿クシム)トス

(イ) 東京都ノ區ノ存スル區域、京都市、大阪市、横濱市、神戸市及名古屋市ヲ勤務地トスル者(以下甲ト稱ス)ハ合計

月額二百圓迄ハ十割、二百十圓以上十圓ヲ増ス毎ニ一分ヲ減シタル率

(ロ) 前號以外ノ市制施行地ヲ勤務地トスル者及艦船乗員ニハ

甲ノ受クベキ額ノ八割

(ハ) 其ノ他ノ地域ヲ勤務地トスル者ニハ甲ノ受クベキ額ノ六割

二 外地又ハ外國ニ在ル軍人軍屬ノ臨時手当ハ別ニ定ム

三 第二復員部内臨時物價手当支給規則第一條(第三號)ヲ除

ク、第三條乃至第五條ハ臨時手当支給ニ付之ヲ準用ス

發大 臣
宛 部内一般

第二〇一三三一番電

外地及外國ニ在ル軍人軍屬ノ物價手当支給ノ件

外地及外國ニ在ル軍人軍屬ニハ内地ニ扶養家族(第二復員部内臨時家族手当支給規則第三條ニ該當スル者ヲ謂フ)ヲ存置スル

モノニ限り本年三月以降物價手当月額五十圓ヲ支給ス

前項ノ手当支給ニ付テハ第二復員部内臨時物價手当支給規則第三條乃至第五條ヲ準用ス

○ 雜 款

○ 郵便物發送先

本艦宛郵便物ハ左記ニ送付サレタイ

記

吳地方復員局艦艇運航部氣付

特別輸送艦 朝 嵐 丸

(特別輸送艦朝嵐丸)

長崎縣 佐世保郵便局氣付

特別輸送艦 加 徳

(特別輸送艦加徳)

第二復員省公報 第七七號

庶務主任

昭和二十一年四月二十七日(土)
第二復員大臣官房

官房第六一號
昭和二十一年四月一日

昭和二一年度歳入歳出科目表ヲ別冊ノ通定メル
別冊ハ所要ノ向ニ配付スル

庶務

昭和二十一年四月一日

第二復員大臣

○通牒

二復人事局補第一一號ノ三〇
附秘千二一四年四月二十六日

第二復員省人事局長

各所屬長官
關係所屬長官殿

第二復員省廢廳ニ伴フ囑託者ノ身上處理ニ關
スル件通知

首箇ノ件ニ關シテ左ノ通り發電サレタカラ了知サレタイ
追第ニ復員省廢廳延期ニ伴ヒ「來ル三月三十一日附第二復
員省廢廳ニ伴ヒ」ハ「第〇六一二四一番電ニ依リ「第二復員
省廢廳ニ伴ヒ」ニ改メラレタ

第二復員省公報 第七七號 昭和二十一年四月二十七日

發 第二復員大臣
宛 部内一般

第二復員省廢廳ニ伴フ囑託者ノ身上處理ニ關
スル件

第三三三三五七番電

來三月三十一日附第二復員省廢廳ニ伴ヒ内地所在第二復員部内
囑託者ノ身上處理ニ關シ左ノ通定ム

但シ外地勤務者ニ付テハ現在ノ身分ニ變更ナキモノトス

一 三月三十一日附ヲ以テ辭令ヲ用ヒズシテ全員解囑セラレタ
ルモノトス

二 現囑託者(專務、兼務)ニ拘ラズ勅任、奏任、判任、無待遇
等一切ノ囑託者)ヲ四月一日以降囑託トシテ引續キ採用ノ要
アルモノニ在リテハ左ノ諸項ヲ記載シ所屬長官經由一括本職
ニ採用ヲ具申スベシ

氏名(生年月日)

現囑託者及新囑託者

第二復員部内囑託採用年月日

現待遇及報酬額(三月一日現在)

四月一日以降擔當業務

履歷書一通添付(前回提出済ノモノハ不用)

三 四月一日以降囑託者(專務、兼務)ニ拘ラズ勅任、奏任、判

1791

任、無待遇等一切ノ囑託者ノ身上取扱中採用、轉囑及解囑ハ本職之ヲ行ヒ其ノ他ノ取扱規定ハ第二復員省囑託者身上取扱規則ヲ準用ス

四 囑託ノ新採用ハ必要已ムヲ得ザルモノニ限ルモノトス

發 人事局長

宛 部内一般

第二五一四五七番電

通譯ノ如ク涉外事務ニ從事スル囑託ノ待遇、報酬ニ關スル件

通譯ノ如ク涉外事務ニ從事スル囑託ニ於テモ官房第二三三三五七番電ニ依リ三月三十一日附ヲ以テ解囑トナルモ之等ハ至急引キ續キ採用セラル、ノミナラズ此種已ヲ得ザルモノノ新採用ニ當リテハ待遇報酬額等特ニ考慮セラル、内意ニ付可然了知相成度

發 人事局長

宛 部内一般

第〇六一二四一番電

囑託者解囑ニ關スル電報中改正ノ件

第二三三三五七番電中「來ル三月三十一日附第二復員省廢廳ニ伴ヒ」ハ「第二復員省廢廳ニ伴ヒ」ニ改メラル尙右改正セラレタルモ囑託者全員ノ解囑期日ハ三月三十一日附ナリ爲念

○雜 款

○郵便物發送先
自今本艦宛郵便物ハ左記ニ依リ送付サレタイ

長崎縣 佐世保郵便局氣付

特別輸送艦 海第六十七號

(特別輸送艦海第六十七號)

福岡縣 若松市九州造船所氣付

特別輸送艦 海第八號

(特別輸送艦海第八號)

○改稱

舊吳地方掃海支部ハ四月十五日附大竹掃海部下改稱サレタイ
追テ當部宛郵便物發送ハ從來通り左記ヘ送付サレタイ

廣島縣佐伯郡大竹町(元大竹潜水學校内)

大竹 掃海部

(大竹 掃海部)

○移轉

當部ハ四月十一日名古屋市中區南外堀町愛知地方世話部内ニ移轉シテ

(名古屋地方復員人事部)